

島根原子力発電所周辺環境放射線等 調査結果の概要

[平成22年10月～平成23年9月 調査結果]

島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果 平成22年 平成23年 10月～9月

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

調査結果を検討・評価したところ、異常は認められませんでした。

■ 雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える？

大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。

■ 放射線量の単位は？

環境中の放射線量を表す場合は「nGy(ナノグレイ)」などを用います。

●1ナノグレイ=1000分の1マイクログレイ=100万分の1ミリグレイ=10億分の1グレイ

● 空間放射線線量率 - 測定地点での空間放射線の量 -

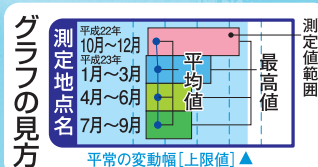
単位:ナノグレイ/時(nGy/時)
20 40 60 80 100 120

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、**環境への影響は認められませんでした。**

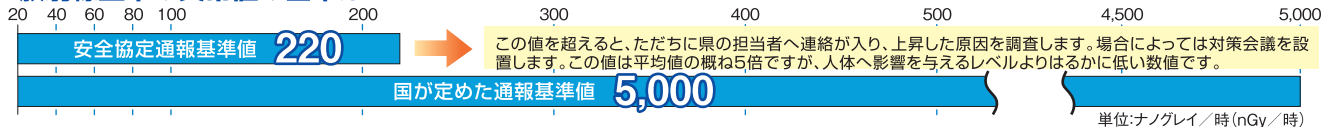
○平常の変動幅:平成18年4月～同23年3月までの全データ*を統計処理した範囲

20 40 60 80 100 120

- モニタリングステーション設置地点 (空間放射線量率、気象情報)
- モニタリングポスト設置地点 (空間放射線量率)



■ 放射線量率の異常値の基準は？



● 空間放射線積算線量 - 発電所周辺16地点で3ヵ月にわたって測定された放射線の合計量 -

1地点で平常の変動幅をわずかに超える線量が測定されましたが、その他の地点については、平常の変動幅におさまる線量でした。いずれも**環境への影響は認められませんでした。**

環境試料中の放射能

— 農畜産物、海産生物、土壌、水、塵などに含まれる放射能の種類と量を測定しています —

H22.10月～H23.9月

一部の試料から福島第一発電所事故由来、または過去の大気圏内核実験等によるものと思われる微量の放射性物質を検出しましたが、**島根原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。**

試料名	測定 試料数	対象γ線放射性核種 (⁵⁴ Mn・ ⁵⁹ Fe・ ⁵⁸ Co・ ⁶⁰ Co・ ¹³⁷ Cs・ ¹³¹ I) セシウム、ヨウ素以外は検出されていません。 ※1			その他のγ線放射性核種 (^{129m} Te・ ¹³¹ I・ ¹³⁷ Cs) ※2			それ以外の放射性核種(³ H・ ⁹⁰ Sr) ※3				単位		
		セシウム-137 ¹³⁷ Cs	H21.10～H22.9 の測定結果	ヨウ素-131 ¹³¹ I ※4	ヨウ素-131 ¹³¹ I	セシウム-134 ¹³⁴ Cs	テルル-129m ^{129m} Te	トリチウム ³ H	H21.10～H22.9 の測定結果	ストロンチウム90 ⁹⁰ Sr	H21.10～H22.9 の測定結果			
浮遊塵	36	ND～270	ND		ND～190	ND～290	ND～190						μBq/m ³	
海水	16	1.1～2.0	1.1～1.9			ND		ND	ND	2.4	1.3			
陸水	池水	3	ND	ND		ND		ND～0.44	ND～0.45				mBq/l	
	水道原水	8	ND	ND		ND		ND～0.42	ND～0.36					
牛乳	原乳	6			ND									
植物	松葉	3	ND～0.96	ND～0.03	ND～4.2		ND～0.97			11	11			
農産物	大根	3	ND	ND		ND								
	キャベツ	2	ND	ND		ND								
	ほうれん草	3	ND	ND	ND		ND			0.08	0.09			
	精米	2	ND	ND	ND		ND							
	茶	2	0.24～0.26	ND～0.04	ND		0.18～0.22			0.19	0.76			
海産生物	なまこ	2	ND	ND									Bq/kg (生)	
	かさご	1	0.07	0.09		ND								
	さざえ	肉	7	ND～0.04	ND		ND				ND	ND		
		内臓	7	ND	ND		ND							
	むらさきがい	6	ND～0.03	ND		ND								
	岩のり	1	ND	ND										
	あらめ	6	ND～0.09	ND～0.06	ND～0.14		ND			ND	ND			
	ほんだわら類	6	ND～0.05	ND～0.05	ND		ND							
	わかめ	4	ND～0.14	ND	ND～0.14		ND			ND	ND			
陸土	5	0.05～0.28	ND～3.5			ND			2.5	1.9		Bq/kg (風乾物)		
海底土	3	ND	ND			ND								

※1:マンガン-54(⁵⁴Mn)、鉄-59(⁵⁹Fe)、コバルト-58(⁵⁸Co)、コバルト-60(⁶⁰Co)、セシウム-137(¹³⁷Cs)、ヨウ素-131(¹³¹I)を、通常対象核種として測定をしています。

※2:対象核種以外で検出された、ヨウ素-131(¹³¹I)、セシウム-134(¹³⁴Cs)、テルル-129m(^{129m}Te)は、福島第一原子力発電所事故の影響によるものと考えられる放射性核種です。

※3:トリチウム、ストロンチウムについては、全ての測定試料ではなく一部の試料について測定しています。

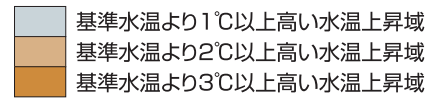
※4:原乳については、ヨウ素-131(¹³¹I)のみ測定対象。また、植物と農産物・海産生物の一部試料のみヨウ素-131を測定しています。

温排水調査結果

(平成22年10月～平成23年9月分)

調査結果を検討・評価したところ、**異常は認められませんでした。**

調査は、①沖合定線、②格子状定線、③沿岸定点、④水色の4項目で行っていますが、ここでは格子状定線の調査結果の概要をお知らせします。



※基準水温:温排水の影響がないと考えられる測定ポイント5地点の平均水温

平成22年度第3-四半期-1回目 平成22年12月13日 9時30分～11時17分



平成22年度第3-四半期-2回目 平成22年12月13日 11時50分～13時27分



平成22年度第4-四半期-1回目 平成23年2月8日 9時30分～11時00分



平成22年度第4-四半期-2回目 平成23年2月8日 11時45分～13時21分



平成23年度第1-四半期-1回目 平成23年6月8日 9時30分～11時17分



平成23年度第1-四半期-2回目 平成23年6月8日 13時30分～15時16分



平成23年度第2-四半期-1回目 平成23年7月26日 9時30分～11時40分



平成23年度第2-四半期-2回目 平成23年7月26日 13時30分～14時13分

